

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	商店街（代表者）	・円安の影響で地元の自動車関連企業の業績が伸びており、今後は地元経済にも波及してくる。
		百貨店（売場主任）	・名古屋駅前地区の高層ビルの開業が続くため、今後は客がこの地域に集中するようになる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・大量販売できる駅前店の売上が大幅に増加しており、今後良くなる傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	・客に消費意欲はあるため、今後は売上也前年を上回る。
		コンビニ（商品開発担当）	・今後も暖かい気候が見込まれるため、飲料、冷やし麺、サンドイッチ、アイスクリーム等の販売が伸びる。
		衣料品専門店（売場担当）	・名古屋駅前地区の高層ビル群の開業や、百貨店の改装により、来客数は増加する。
		衣料品専門店（企画担当）	・消費者の購買意欲は堅調であり、既存店の売上が伸びる兆しがある。
		一般レストラン（経営者）	・近隣の企業団地の景気が上向きにあり、来客数は増加する。
		観光型ホテル（販売担当）	・団塊の世代が定年を迎えていくため、今後はゆとりのある熟年層の利用が少しずつ増える。
		旅行代理店（経営者）	・団塊世代の海外旅行が少しずつ増えており、今後は更に伸びる。
		美容室（経営者）	・新しいマンションなどの建築がかなり進んでおり、付近の住民が増える。そのため、今後は少し明るくなる。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・入校の問い合わせ件数が少しずつ増加しているため、今後は入稿者数が増える。
		住宅販売会社（従業員）	・金利の上昇が予想され、住宅建築を前向きに検討する人が増える。
		住宅販売会社（従業員）	・日銀による政策金利の引上げに伴い、様子見をしていた客が動き始める。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・年度末に掛けて、住宅の新築物件や工場の設備投資に伴う内装工事を、数件受注している。
	変わらない	商店街（代表者）	・薄型テレビの単価下落が激しいため、今後仮に販売台数が増えたとしても、利益の増加にはつながらない。
		商店街（代表者）	・来客数はそれほど減少しておらず、問題は客単価が低いことだけであるが、この状況は3か月後も変わらない。
		百貨店（売場主任）	・今は非常に良いが、今後名古屋駅地区に様々な商業施設が開業するため、その影響を受ける。
		百貨店（企画担当）	・名古屋市内では、高層オフィスビルの開業や百貨店の改装などの活性化材料がある。しかしその反面で、競争が激化するため、全体としては変わらない。
		百貨店（企画担当）	・購買単価はかなり上昇してきているが、購買客数の減少傾向は今後も続く。
		百貨店（企画担当）	・名古屋駅地区に注目が集まっており、来客数の増加はしばらく続き、売上也増加する。その一方で、春物の動きが前倒しになったことにより、4、5月ごろには商材が不足するため、全体としては売上は変わらない。
		スーパー（経営者）	・近隣に大型ショッピングセンターが開業するため、厳しい状況は今後も続く。
		スーパー（店長）	・客単価の動きが不安定である。来客数はまだ若干伸びるが、全体的には変わらない状態が続く。
		スーパー（店員）	・来客数はほとんど変わらないが、客単価が多少悪くなる傾向にある。今後、売上は良くなるどころか、若干悪くなる可能性もある。
		スーパー（店員）	・主婦の財布のひもが固いことが、単価や販売量の動きから感じられる。ただし、2、3か月先は、少し落ち着き始める。
		コンビニ（エリア担当）	・期末には競合店の出店と閉店が同じくらい予定されており、2、3か月先も大きく変わらない。
		家電量販店（店員）	・薄型テレビは、販売台数は増えているが、単価が低下してきている。新OS搭載のパソコンも、そろそろ値崩れが起きつつある。洗濯機と炊飯ジャーは高額商品が人気であるが、全体としては、今後も前年と同様になる。
旅行代理店（経営者）		・出張関係で動きはあるが、大手の旅行会社の受注が増えており、中小の旅行代理店ではますます厳しくなる。	

	旅行代理店（従業員）	・定年を迎えた団塊世代の客が増えてくるが、全体としては、来客数は変わらない。	
	通信会社（企画担当）	・業界内の競争は一段と激化しており、厳しい状況は今後も続く。	
	設計事務所（職員）	・金利が上がっても先行き不透明であることに変わりはなく、今後も現状が続く。	
	住宅販売会社（企画担当）	・金利が少し上がっても、客の様子見は変わらず、今後も大きな変化は無い。	
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・当社だけでなく他のチェーンでも、年度末の駆け込み出店が目立っている。今後、商圈はますます小さくなり、厳しい方向に進む。	
	コンビニ（店長）	・コンビニの出店が相次いでおり、当店でも夜10時以降の客が激減している。今後も、競争は一層厳しくなる。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・販売量にばらつきがあり、単価は低下している。今後も、売上が伸びることはない。	
	高級レストラン（スタッフ）	・個人客や家族客の減少に加えて、法人客の利用も伸びが鈍っている。今後はより厳しくなる。	
	スナック（経営者）	・今年はゴールデンウィークが大型になるため、お金はレジャー代に流れてしまう。そのため、ゴールデンウィーク明けは、例年より繁華街の人出が減り、売上も落ち込む。	
	観光型ホテル（経営者）	・5、6月の宿泊状況が、前年を上回ることはない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・名古屋駅前地区に大規模商業施設がオープンするため、客は間違いなく名古屋駅方面へと流れる。	
	通信会社（開発担当）	・来年度の計画では、業務量は30%程度減少する。	
悪くなる	商店街（代表者）	・取扱商品を変えていかないと、今後もますます悪くなる状況にある。	
	パチンコ店（経営者）	・規制の強化に伴い、今後は主力機種収益が減少する。	
	パチンコ店（店長）	・遊技機の高騰に伴い、客への還元が少なくなり、悪循環が進む。	
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・3か月以内に新設工場が本格稼働する予定であり、新製品の販売に伴って増収増益を見込んでいる。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（統括）	・主要取引先からの受注は順調に増えており、今後も引き続き増える見込みである。
		輸送業（エリア担当）	・3月期末に向けて、仕事の引き合いが来ている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量共に、今後も現状とあまり変わらない。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・今後、単価が高い欧州市場で受注や販売が活発になると上向くが、米国市場が低迷する限りは、全体としては良くならない。
		輸送業（経営者）	・自動車関連、住宅関連などは堅調であるが、主力の商業系の荷動きがやや低調であり、今後も全体的には変わらない。
		輸送業（従業員）	・石油製品の高騰は収束しつつあるが、依然として高止まっており、今後も不安要素が大きい。
		輸送業（エリア担当）	・貨物量の前年割れが続いているうえに、大口貨物も従来と比べると少ないため、現状維持が続く。
		輸送業（エリア担当）	・主要荷主の状況を聞くと、年内までの見通しは明るい。
		金融業（企画担当）	・今後、借入金利が上がっていくため、良くなる要素は無い。
やや悪くなる	広告代理店（制作担当）	・インターネット関係の広告は少し増えそうであるが、紙媒体の広告量は、あまり変わりそうにない。	
	公認会計士	・原材料費が高止まりしており、労務費も高騰しているが、販売価格に転嫁できない中小企業が多いため、収益は引き続き圧迫される。さらに、借入金利が上昇する可能性が高いため、財務面で一層の負担となる。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・まだまだ低金利ながらも、金利上昇に伴う影響は、今後じわじわと効いてくる。	
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（社員）	・大手企業は好景気であるが、発注条件が厳しい。数量が増えるとともに値下げ要求があるうえ、在庫を持たないため小口、短間隔での納入を要求してくる。非常に効率が悪く、結局全体ではマイナスになる。	
	金属製品製造業（経営者）	・原材料価格の高止まりは今後も続き、一部の原材料ではこれから値上がりする見通しである。4月出荷分からは価格改定せざるをえない状況になってきているが、競争が激しいため、今後は販売量の減少が懸念される。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・一足遅れでやっと上向きつつあり、来期には設備投資を検討している矢先に、金利が引き上げられ、出鼻をくじかっている。	

		輸送用機械器具製造業 (総務経理担当) 会計事務所(職員)	・日銀による金利の引上げが、今後の景気に悪影響を及ぼす。 ・日銀による金利の引上げが、中小企業者の経営に影響を与える。わずかな利上げでも、中小業者にとっては大きな負担である。
	悪くなる	鉄鋼業(経営者)	・資金力のない中小零細企業は、今後更に淘汰される。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(経営企画)	・海外からの人員採用が本格化しており、客の技術者需要に今まで以上にこたえることが可能になる。
		人材派遣会社(社員)	・自動車関連企業では、正社員の募集が活発化している。また、派遣を増員する企業も増えている。
		民間職業紹介機関(職員)	・求人数は6か月前から高水準が続いており、派遣登録者数が追いつかない状況が続いている。この状況は当面続く。
	変わらない	求人情報誌製作会社(企画担当)	・求人広告件数等から見ると、求人数は頭打ちであるが、減少する要因もないため、当面は高止まりする。
		職業安定所(所長) 学校[大学](就職担当)	・求人、求職共に、当分は安定した動きが予測される。 ・求人数は当面変わらない。
やや悪くなる	職業安定所(職員)	・求人数、求職者数共に増加傾向にあるが、会社都合による離職者はここ1年増加傾向にある。人員整理を検討している事業所からの相談が非常に多く、今後失業者は増加する。	
悪くなる	-	-	